

平成23年度 木更津市社会教育委員会 第3回定例会 議事録

日時：平成24年1月20日（金）

午後3時30分～5時15分

会場：ロイヤルヒルズ木更津ビューホテル

出席者 蘇我委員、榛澤委員、武田委員、石井委員、宮崎（恵）委員
平野（則）委員、平野（博）委員、李委員、吉田（裕）委員、野中委員
地曳委員、内田委員、伊藤委員、平田委員
（14名）

事務局 初谷教育長、石井教育部長、北原次長、根本参事兼生涯学習課長、
原主幹、水越主査

傍聴者 坂井真貴子（県社会教育委員）

1. 開会

事務局）

定例会を開催いたします。本会議は木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されております。本日の傍聴人は1人です。報告いたします。また本日の会議成立に関してですが、委員18名中、14人の出席であります。4人の欠席です。社会教育委員会運営規則第3条第2項の規定により会議の成立を報告いたします。

それでは、はじめに蘇我議長に挨拶をお願いいたします。

蘇我議長）

こんにちは、御多用の中ご出席頂きありがとうございます。

いつもは市役所の会議室などで開催いたします本会議でございますが、本日はこの後、公民館運営審議会との合同新年会があるということで、ここ木更津ビューホテルにて開催させて頂きました。

昨年、機会があり木更津市防災協会の皆さんと被災地を訪問いたしました。行った場所は宮城県の中でも一番被害が大きかった石巻市から観光で有名な松島でした。バスへ現地の方が同乗されまして被害の状況、復興に向けての説明を受けました。そんな中で感じたことなのですが、観光の街で有名な松島では死者がゼロだったとの事だそうです。これは日頃から観光客が多いということもあり、災害に備えてのシュミレーション（訓練）を十分に行っていた成果だったのではないかと感じました。街では避難場所（瑞巖寺）への誘導を街人の誰も（主婦、僧侶、お年寄りなど）が観光客や言葉の通じない外国人にまで手招きで避難場所までの誘導をしていたんだそうです。

やっぱり地域のそんな力って凄いなあ、と強く感じたんです。地域力の重要性を改めて感じました。

ご案内の中で既に事務局よりレポートの提出についての課題がだされておりましたが、本日は委員の皆さんからの色々な意見を聞かせてもらい、更にこの後1年かけて皆さんと今回の課題について深めていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

事務局)

ありがとうございました。続いて教育長のお話ですが、教育長が到着しだいでご挨拶を頂きたいと思っております。それまで会議の方を進行させていただけたいと思っております。それでは蘇我議長に進行をお願いします。

議 長)

それでは議題に入る前に、今回の課題についての説明を事務局よりお願いしたいと思っております。

事務局説明（水越）

議 長)

それでは、早速皆様からのレポートを発表頂こうかと思っております。順番については、独断ではありますが議長特権と言うことで指名させて頂きますので宜しくお願いいたします。

はじめに、私自身が発表させて頂き、続けさせて頂こうと思っております。

**※以下（発表順）なお、蘇我議長発表後に教育長の挨拶を頂きました。
挨拶は①にて記載いたします。**

蘇我委員（議長	コミュニケーションの再構築など
平野（博）委員	地域交流の拠点など
宮崎委員	受益者負担の原則など
内田委員	学校機能と社会教育機能の融合など
榛沢委員	官民一体での事業推進など
地曳委員	郷土愛を育む施設活動など
野中委員	求められることへの実現など
石井委員	年齢にこだわらない居場所づくりなど
吉田委員	児童館の設置など
平野（則）委員	子どもの居場所づくりなど
伊藤委員	住民会議と地域コミュニティーなど
平田委員	バリアフリーの充実など
李委員	中国との日本との公民館活動（社会教育活動の差など
武田委員	超高齢化社会からの視点での運営など

※要約及び個人レポート（一部未提出有）は別添資料参照

①教育長挨拶

皆さんこんにちは。大変大事な会議に遅れました事をご詫言ひ致します。日頃より大変お世話になっております。外は大変寒いですが、議長にはこのように環境を整えて頂いたお部屋を用意して頂きありがとうございました。今回の会議について担当から説明を受け、事前に平野委員のレポートを拝読させて頂きましたが、この2つ課題を今回は全委員に提出を求めたと言うことで、随分大胆な事をする事務局だなと思ひまして、お願いをする過程で皆さんに失礼、御無礼があつたのではないかと心配しておりますが、これも事務局の熱意の表れと言うことで御容赦願えればと存じます。

しかしながら事務局と致しましては御意見を頂戴した以上は、よもや聞きっぱなしと言うことはないでしょうから、意見をよくよく整理して頂き本市教育委員会社会教育施策に反映して頂くように私からも強く要望いたします。

また、こちらに来る前に市長、副市長含め財政部局担当の方々と来年度予算についてじっくりと時間をかけ審議してまいりましたが、教育委員会スタッフの努力のおかげで、査定で切られた事項を強く復活要求したところ、何とか復活しそうでございます。最終的には議会を通さなくてはなりません。公民館の改修や70周年記念事業の関係などが挙がっております。引続き委員の皆様方のご指導を賜って今後も社会教育、生涯学習を力強く進めてまいりたいと思ひますので宜しく願ひいたします。

議長)

時間を大幅に経過してしまいました。これにて会議を閉じます。

平成24年 月 日
木更津市社会教育委員会議
議長 蘇我 芳章